

令和8年度 若園中学校 特色ある学校づくり推進事業 計画書

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	自分たちの住むふるさと若園を誇りに生きる生徒	分野	f	交流体験
	サブテーマ ～異年齢・地域との交流体験活動を通して～	その他		
学校づくりの視点（ねらい）	本校は、「We love Wakazono」をスローガンに掲げ、異年齢・地域との交流を通して活気のある学校づくりを進めている。 学校内外の行事を中心とした教育活動に、異年齢との交流（校内異学年・幼稚園・こども園・小学校、地域の大人）を取り入れ、他者とのふれ合いのなかに喜びをみつけ、命の重みやお互いを理解し尊重しようという指導を進めている。中学校と合築された交流館を活用し、様々なスタイルでの地域との交流を進めてきた。 また、ボランティアの推奨を通して生徒に社会性と望ましい人間関係の育成を図るべく、機会の斡旋と場の提供、直接的な指導を地域学校協働本部と交流館及び学校が協働して推進している。一方、不安な気持ちを抱えながら、集団生活に適応できない生徒の心のケアを行事と絡めながら行い、笑顔で学校生活ができるよう支援を進めている。 さらに、花壇づくりや樹木の管理などの環境整備を通して、生徒の教育環境を整えるとともに来校される保護者や地域の方々にも喜んでいただける環境づくりをさらに進めていきたいと考えている。			
活動内容・計画	○体育祭や音楽発表会において縦割り組団活動を実施する。 10月 合唱発表会における練習の工夫 11月 体育祭にて縦割り組団活動 ○異年齢との交流活動を実施する。 7月 若園小学校との学習交流、特別支援学級同士の交流（七夕会） 8月 若園こども園預かり保育ボランティアの実施 9月 花園幼稚園との交流・保育実習 12月 若園小学校との学習交流、特別支援学級同士の交流（クリスマス会） 1月 入学説明会 ○交流館・地域行事や学校内外でのボランティア活動への参加を進める。 通 年 各種地域行事にボランティア参加 9月 若園コミュニティ主催の「ふれあいまつりボランティア」にて文化部および中学生ボランティア参加 若園スポーツクラブ主催「スポーツフェスティバル」活動サポートへの生徒のボランティア参加 ひまわり懇談会ボランティア参加による地域のお年寄りとの交流 図書館ボランティア、読み語りボランティアの積極的な活用 ○水辺の緑の回廊整備（学校の東側を流れる逢妻男川河畔の環境整備） 6月 3年生・1年生（1年1組・2組）保護者・生徒による河畔樹木の下草刈り 9月 2年生・1年生（1年3組・4組）保護者・生徒による河畔樹木の下草刈り ○地域企業等とともに行う活動 トヨタ車体の壁画作成 夢咲ロード（フラワーロード、花壇）の整備			
補助員配置	・心の相談員 ・校内整備員			
実績・期待される効果	・縦割り組団活動を通して、集団への所属感が深まり、集団の一員としてよりよい集団を築こうとする意識が育っている。 ・異年齢との交流（幼稚園・こども園・小学校・地域の大人）を通して、他者とのふれ合いを喜び、命の重みや互いを理解し尊重しようという意識が高まっている。 ・地域の一員としてボランティアに参加しようという意識が高まっている。 ・地域で活動する中学生の姿を見ていただくことにより、地域の方が中学生の様子を理解するよい機会となっている。 ・心の相談員が生徒の心の内を聞くことによって、心の安定がはかれるようになる。 ・はあとラウンジにおける個別の支援が充実し、不登校対策の一助となる。 ・校内整備員の導入により、生徒の活動場所の整備や来校者を迎える環境づくりを効率よく行うことができる。			
検証方法	・生徒アンケートによる満足度 ・保護者アンケートによる評価点 ・学校自己評価による評価点			